ベストプラクティスを使用したHyperflexアップ グレードの実行

内容	
<u>はじめに</u>	
<u>前提条件</u>	
<u>要件</u>	
<u>使用す</u> る	<u>るコンポーネント</u>
<u>アップ:</u>	<u> ブレード前の手順</u>
<u>/۲–</u>	·ジョン選択
<u>互換</u>	
<u>アッ</u> ナー	<u>プグレードガイド</u>
<u>考慮</u>	
<u> </u>	
<u>//1//-</u>	
Intersig	<u>htヘルスチェック</u>
Intersig	<u>ht HealthCheckデモ</u>
<u>指導用</u> b	<u>1774</u>
<u>重要な検</u>	
UCSMT	<u>での未使用パッケージの削除</u>
<u>アップス</u> 認する	<u> ストリームスイッチでスパニングツリーポート(STP)PortFastが有効にされているかを確</u>
<u>ファブ</u> !	<u> </u>
<u>標準ク</u>	ラスタおよび拡張クラスタでのストレージデータVLANのアップストリーム設定
<u> MTUお</u>	<u>よびフェールオーバー</u>
<u> テスト</u>	<u>アップグレードの適格性の実行</u>
<u>ユーザ</u> ど	<u>ヒパスワードの検証</u>
<u>メンテ</u>	<u>ナンスモードへの切り替えの検証</u>
<u>vMotion</u>	iConfigurationの確認
<u>クラス:</u>	^{えでEVC(Enhanced VMotion Compatibility)が有効になっていることを確認します。}
<u>仮想マ</u> う	シン(VM)でのアフィニティルールの確認
<u>ESXi</u> T	<u>ージェントマネージャ(EAM)</u>
<u>รรคอ</u> ร	<u> 性爱事項</u>
<u>HXL</u>	<u>ISERロックアウト</u>
<u>ם ש</u>	<u>クダウンモードまたは停止</u>
<u>複製</u>	
<u>ドライス</u>	<u>ブ障害</u>
<u>以前の</u> う	<u>マザーボードの交換、再導入、およびノードの削除</u>
<u>HXとvC</u>	<u>Centerの不一致</u>
<u>HyperF</u>	l <u>ex vCenter再登録</u>
関連情報	

はじめに

このドキュメントでは、HyperFlexクラスタのアップグレードプロセスを正常に実行するためのベ ストプラクティスについて説明します。

s

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Computing System Manager(UCSM)
- ・ Cisco インテグレーテッド マネージメント コントローラ (CIMC)
- HyperFlex
- Elastic Sky X統合(ESXi)
- vCenter
- Intersight

使用するコンポーネント

- HyperFlex Connect 4.5(2e)
- UCSM 4.2.(1f)
- Intersight
- vCenter 7.0 U3

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

アップグレード前の手順

バージョン選択

選択したターゲットバージョンは、HyperFlex環境のニーズに基づいて決定されます。その目的は 、古いソフトウェアから新しいソフトウェアを改善、修正、および活用することです。

新機能、新しくサポートされるハードウェア、コンポーネント間の相互運用性、ガイドライン、 制限事項、セキュリティ修正、解決済みの注意事項などの情報については、HyperFlexのリリース ノートを参照してください。

リリースノートの情報を確認するには、<u>ここ</u>をクリック<u>してください。</u>

互換性

Hyperflexクラスタアップグレードを実行する前に、すべてのバージョンに互換性があることを確認します。シスコは次を推奨します。

- HyperFlex、Unified Computing System(UCS)、およびESXi/vCenterの各バージョンの相互 運用性を確認します。
- ターゲットのHyperFlexターゲットバージョンでサポートされているすべてのハードウェア モデルを確認します。
- Cisco HyperFlexソフトウェアの要件と推奨事項については、<u>ここ</u>を参照してください。
- 記載されているすべてのUCSおよびVMwareバージョンは、シスコによって推奨され、高度 にテストされています。
- シスコでは、より信頼性が高く、高度にテストされたHyperFlexバージョンを推奨しています。
- 推奨されるHyperFlexバージョンは、金色の星が付いています。ここを確認してください。

アップグレードガイド

実行する手順が記載されたCisco HyperFlexアップグレードガイドを確認します。

このガイドでは、次のようなさまざまなタイプのシナリオに関する情報を提供します。

- 統合アップグレード。すべてのHyperFlexクラスタコンポーネントのアップグレードが必要
- 個別のアップグレード。HyperFlexクラスタコンポーネントの1つをアップグレードする必要がある
- オフラインアップグレード。HyperFlexクラスタをシャットダウンする必要がありますか。
- クラスタタイプに応じたアップグレードワークフロー(標準、強度、エッジ)
- アップグレードガイドは<u>ここ</u>から入手でき<u>ます。</u>
- クラスタがCisco Intersightを使用して展開されている場合は、Intersightを使用します。この ガイドは、<u>こちら</u>を参照<u>してください。</u>

考慮事項

- シスコでは、ワークフローのトラフィックが少ない時間帯やメンテナンスの時間帯にオンラインアップグレードを実行することを推奨しています。
- アップグレードが完了するまでの時間は、クラスタサイズの相対性です。
- オフラインアップグレードでは、すべてのゲスト仮想マシン(VM)がオフラインである必要 があることを考慮してください。
- シスコでは、サポート終了(EOL)として現在使用されているバージョンを回避するために、 新しく使用可能になったバージョンのHyperFlexリリースノートを監視することをお勧めし ます。
- ・ <u>ここ</u>にあるCisco HyperFlexリリースノートを確認してください。

アップグレード前ツール

HyperFlexアップグレードを実行する前にヘルスチェックを実行して、潜在的な障害を修正し、ア ップグレード中の予期しない動作を回避します。

これらのヘルスチェックを実行する方法は2種類あります。

ハイパーチェック

このツールは、HyperFlexシステムでプロアクティブなセルフチェックを実行して、システムの安 定性と復元力を確認するためのユーティリティです。

ハイパーチェックガイドの情報は<u>ここ</u>にあ<u>ります。</u>

Intersightヘルスチェック

これは、事前チェックに推奨される方法です。定期的に更新され、設定ミスの可能性を簡単に検 出できる新しいトラブルシューティング機能が含まれています。

アップグレードプロセス中に新たに検出された不都合のある注意事項を常に最新の状態で検出し ます。Intersight HealthCheckのガイド情報は、<u>ここ</u>から入手でき<u>ます。</u>

Intersight HealthCheckデモ

手順1: Intersight にログインし、インフラストラクチャサービスに移動します。次に、 HyperFlexクラスタを選択し、クラスタを選択します。

例は、San_Joseという名前のクラスタを示しています。Actionsドロップダウンメニューで、Run Health Checkを選択します。

an_Jose		
Perview Operate Profile Cap	acity Planning Performance Health Check General	Actions Events Configure Backup
Health	A Basauraa Status	Upgrade Cluster Alt Expand Cluster
Warning Itorage Resiliency Status Healthy	Storage Utilization TiB Capacity Runway	HX Jul Launch HyperFlex Connec Ew Run Health Check
1 Converged Node failure can be tolerated.	(32.1) • Used 0.2 DAYS	HX Jun Open TAC Case



注:この例では、単一クラスタで実行されるヘルスチェックを示します。複数のクラス タのヘルスチェックを同時に選択して実行できます。

クラスタを確認し、Nextをクリックします。

← HyperFlex Clusters Run Health Check		
Clusters Backups Cluster Selection Health Check Selection	Cluster Selection Select HyperFlex cluster(s) where health checks have to run.	
	Confirm Cluster Selection 1 Selected 1 items found 10 10 per page	
	Q Add Filter Image: Name Health Drive Type Storage Cap Storag Image: Cap Image: San_Jose A Warning All Flash 32.1 0.6% Selected 1 of 1 Show Selected Unselect All Image: Cap Image: Cap Image: Cap	
¢	Cancel Back	Next

ワークフローでは、必要に応じて一部のチェックをスキップできます。

ステップ2:Startをクリックして、事前チェックを開始します。

← HyperFlex Clusters Run Health Check		
Clusters Backups		
Cluster Selection Health Check Selection	Health Check Selection Select the desired health check(s) that have to run on the HyperFlex	cluster(s).
	Q Search	Total selection 45 of Expand 58 All
	General Check — Cluster Infrastructure Check (18 of 18 Select	sted) Select All
	NTP Time Drift from Reference Clock NTP Server Reachability vCenter Connectivity	 Process Memory Monitoring Monitor Local Filesystem Usage Distributed Cluster Lock Manager Partition Usage
	 DNS Server Reachability NTP Service Status Disk State 	Packages Version Stale Node ESXi HxUser Password
	Keystore File Kernel Out of Memory Check	Cluster Services Rebalance Status Check
<	Cancel	Back Start

進行状況バーを確認し、HealthCheckタスクが完了するまで待ちます。

Requests

* All Requ	Status In Pro	gress × Add Filte	ir.			×	G	Export	1 items found	12 v per page 📧 <	1 of 1	
Statu C In P	IS rogress 1	Execution Execute 1	Туре									X
Nam	e	Status ;	Initiator	: Target	Type Target	Name Start Time	:	Duration	ID	Execution	on Type	ş
Run	Selected Hy	In Progress 395	60	cisco Hyperi	Flex Cluster San_Jo	ie a minute a	90	46 s	648	083b7696f6 Execute		

ステップ3: HealthCheckタスクが完了すると、結果を確認できる場所がいくつかあります。

Health Checkタブには、一般的な結果が表示されます。この例では、フィルタリングされて PassedおよびNot Runの結果が表示されません。

э¢.	Overview	HyperFlex Clusters San_Jose	
0	Operate ^ Servers	Overview Operate Profile Capac	ity Planning Performance Health Check
	Chassis	Last Health Check Summary	Results
	Fabric Interconnects	General Check	🖃 Collapse 🔮 Failed 🔮 Warning 🔮 Unknown 💿 Passed 💿 Not Run 🔮 General Check 🔮 Security Check
	HyperFlex Clusters		All
,o	Integrated Systems	Security Check	General Check
	Profiles	Test Run Time Juli 13, 2023 5:09 PM Reference Learn more at Help Center	Hypervisor Check
	Templates Policies		+ VMotion Enabled 🗵
	Pools		+ ESXI Cross Hosts Connectivity Check
			+ ESXI VIBs Check
New Navi to He	Command Palette X Sate Intersight with X+K or go Ip > Command Palette		Security Check

ステップ4: Affected Nodesをクリックして、問題のノードを確認します。

← HyperFlex Clusters						
San_Jose		Affected Nodes				
		Details				
Overview Operate Profile Capacity	Planning Performance Health Check	Check Type	Check Name			
Last Health Check Summary	 Hypervisor Check 	Hypervisor Check	VMotion Enabled			
Last reach one of our many			G 3 items found 10 v per p	age 🔣 < 1 of 1 🖂 🖂	\odot	
General Check	 VMotion Enabled 	Host Name	Storage Controller IP	Hypervisor IP		
⊘1 ⊗42 03	Last Run Time	San-Jose-Server-1	10.31.123.181	10.31.123.178		
Security Check	4 minutes ago	San-Jose-Server-3	10.31.123.183	10.31.123.180		
	Description	San-Jose-Server-2	10.31.123.182	10.31.123.179		
Test Run Time	VMotion is Enabled on the ESXi Host			📧 🔄 1 of 1		
Jul 13, 2023 5:09 PM	Cause					
Peference	VMotion is disabled.					
Learn more at Help Center	Resolution					
	Enable VMotion on the ESXi host.					
	Affected Nodes					
	(03)					

Overviewタブから、Events: Alarms、Requests、およびAdvisoriesにチェックマークを付けます。

各イベントを展開すると詳細が表示されます。

例は、要求が展開されていることを示し、選択したハイパーチェック正常性チェックの実行が失 敗したことをクリックします。

		Actions
Details	General	Events
Health		+ Alarms 2
A Warning	Resource Status	- Requests 2
Storage Resiliency Status	Storage Utilization TIB Capacity Runway	 Requests for last 7 days
1 Conversed Node failure can be	(32.1 TOTAL) • Free 31.9 DAYS	Run Selected HyperFlex Health Failed
tolerated.		Run Health Check 10 m
lame		Run Selected HyperFlex Health
		Failed

成功したチェックと失敗したチェックがすべて表示されます。

ステップ 5: Show Additional Detailsのトグルをクリックします。

← Requests

Run Selected HyperFlex Health Checks

Details	Execution Flow
Status	Show Additional Details
Failed	Validate and Update HyperFlex Cluster Health Check Execution State
Name	S HyperFiex health check(s) failed or completed with warnings. For more information, please go to HyperFlex Clusters \rightarrow San_Jose \rightarrow Health Check tab.
Run Selected HyperFlex Health Checks	Invoke Check: ESXi to Controller VM Connectivity
ID 64b083b7696f6e330121fbf8	⊘ Invoke Check: /tmp Permissions
0400000/0001000001211010	O Invoke Check: Controller Duplicate Folders
Target Type HyperFlex Cluster	⊘ Invoke Check: VFAT Disk Usage
Targat Nama	Invoke Check: SMART Disk Failures
San_Jose	O Invoke Check: ESXi HX User Account

各呼び出しチェックを展開して、チェックされた内容を詳細に表示できます。

ログ、入力、および出力の詳細情報は、JSON形式で示されます。

nvoke Ch	eck: VMotion Enabled	Jul 13, 2023 5:08 P
1	1	53 国
2	{	
3	"ConfigResCtx": {	
4	"EntityName": "Jonah"	
5	},	
6	"Message": "VMotion is disabled on the ESX1 host.",	
8	UMIETLU : (III):04003000000000000000000000000000000000	
9	"Type": "Config"	
10	}}	
11	1	
4 5 7 8 9 10	"HyperFlex HealthCheck Definition MOID": "63c057e""""""""""""""""""""""""""""""""""""	
Outpu	"ConfigResCtx": {	₿ %
6	λ,	
/	"Message": "VMotion is disabled on the ESX1 host.",	
0	vmeriu : leuro:04000300 ///////////////////////////////	
0	"State", "Errored"	

Hpercheck <u>ビデオ。</u>

Intersightヘルスチェック<u>ビデオ</u>



注:一部の修正にはTechnical Assistance Center(TAC)の介入が必要です。必要に応じて ケースをオープンします。

重要な検証

UCSMでの未使用パッケージの削除

UCS Managerファームウェアマネージャでは、UCSファームウェアパッケージをFabric Interconnectのブートフラッシュパーティションにダウンロードする必要があります。 コンポー ネントで使用されなくなった古いファームウェアパッケージを確認して削除し、Fabric Interconnectのブートフラッシュパーティションが不要なファイルでいっぱいにならないようにし Fabric Interconnectのスペースを確認します。

ステップ 1 : Equipmentに移動し、Fabric Interconnectsを選択してから、Fabric Interconnectを選 択します。この例では、ファブリックインターコネクトA(プライマリ)を示します。

ステップ2: generalパネルで、Local Storage Informationを選択して展開します。

General Physical Ports Pans Pou	s Physical Display FSM Neighbors F	aults Events Statistics			
Fault Summary	Physical Display				
8 7 0 0 0 3 1 0	Up Admin Down Fail Link Down		*		
Thermal : + OK Ethernet Mode : End Host Admin Evac Mode : Off Oper Evac Mode : Off	Name : A Product Name : Cisco UCS 6248UP Vendor : Cisco Systems, Inc. Revision : 0 Available Memory : 12.543 (GB) Locator LED : ©	PID Serial Total Merr	: UCS-FI-6248UP :		
Configure Evacuation Configure Unified Ports	Part Details				
nternal Fabric Manager LAN Uplinks Manager NAS Appliance Manager	Ty Advanced Filter + Export + Print				¢
SAN Uplinks Manager	Partition	Size (MB)	Used		
SAN Storage Manager	bootflash	16,329		79%	
inable Ports •	opt	3,877		4%	
Disable Ports *	spare	5,744		6%	
	var_sysmgr	2,000		11%	
Set Ethernet Switching Mode	var_tmp	600		1%	_

アップストリームスイッチでスパニングツリーポート(STP)PortFastが有効にされ ているかを確認する

アップストリームスイッチでSTP PortFastコマンドがサポートされている場合は、イネーブルに することを強く推奨します。 PortFast機能を有効にすると、スイッチまたはトランクポートは、 ただちに、またはリンクアップイベント時にSTPフォワーディングステートに入ります。これに より、リスニングステートおよびラーニングステートはバイパスされます。

PortFast機能はポートレベルで有効にされます。このポートは物理ポートまたは論理ポートのいずれかです。

ファブリックインターコネクトポートまたはアダプタでの物理ポートエラー

UCSMで、アップリンクまたはサーバのポートのポートエラーに関連する障害を確認し、フェー ルオーバーの望ましくないシナリオを回避します。

ステップ1:UCSMにログインして、Equipmentタブに移動し、Rack-Mountsを展開して、 Serversを展開します。この例では、Server 1を使用しています。

ステップ2:Adaptersを展開してから、NICsを展開します。

ステップ3:各ネットワークインターフェイスカード(NIC)が汚れていないことを確認します。



標準クラスタおよび拡張クラスタでのストレージデータVLANのアップストリーム 設定

ファブリックインターコネクトBがダウンした場合にフェールオーバーが実行されるように、ストレージデータVLANをアップストリームデバイスで設定する必要があります。

HyperFlexインストール<u>ガイド</u>に記載されているすべての要件を確認<u>します。</u>

MTUおよびフェールオーバー

仮想マシンネットワークインターフェイスカード(vmnic)の両方のパスのネットワーク接続フロー を確認します。



注:アップストリーム接続テストを実行するには、このビデオを確認してください。

この<u>ガイド</u>を使用して、UCSポリシーに基づいて正しいNICチーミングが正しく設定されている ことを確認<u>します。</u>

インフラストラクチャのアップグレード中に、ESXiアップリンクが起動するのを待ってから、他のFabric Interconnectをリブートします。

テストアップグレードの適格性の実行

Cisco HyperFlex Release 4.0(2a)以降では、アップグレードのページに最新のクラスタアップグレードの適格性テスト結果と、UCSサーバ、HXデータプラットフォーム、またはESXiの最新テストバージョンが表示されます。

アップグレードの適格性テストを実行するには、HX Connectにログインします。

ステップ1: Upgrade > Test Upgrade Eligibilityの順に選択します。

ステップ2:UCSサーバファームウェアのアップグレードが適切かどうかをテストするには、 UCSサーバファームウェアチェックボックスをオンにします。

ステップ 3: Cisco UCS Managerの完全修飾ドメイン名(FQDN)またはIPアドレス、ユーザ名、お よびパスワードを入力します。Current VersionフィールドでDiscoverをクリックし、アップグレ ード前に検証する必要があるUCSファームウェアパッケージのバージョンを選択します。

ステップ 4:HyperFlexデータプラットフォームのアップグレードが適切かどうかをテストするに は、[HXデータプラットフォーム]チェックボックスをオンにします。

ステップ 5:vCenterのユーザ名とパスワードを入力します。アップグレードの前に検証する必要 があるCisco HyperFlex Data Platformアップグレードバンドルをアップロードします。

手順 6:ESXiチェックボックスをオンにして、ESXiのアップグレードが適切かどうかをテストします。

手順 7:vCenter管理者のユーザ名とパスワードを入力します。アップグレードの前に検証する必要があるCisco HyperFlex Custom Image Offlineバンドルをアップロードします

ステップ8:[検証]をクリックします。

ステップ9:アップグレード適格性テストの進行状況が表示されます。

ユーザとパスワードの検証

パスワードの確認:

- vCenter管理者
- ・ESXiルート
- ストレージコントローラ仮想マシン(SCVM)のadminおよびroot

メンテナンスモードへの切り替えの検証

メンテナンスモードの操作中に、ホストで実行されているバーチャルマシンを別のホストに移行 できることを確認してください。VMを移行できない場合は、電源を切る必要があります。VMが 自動的に移行されないが、手動で移行できる場合は、DRSに関連する問題があるかどうかを確認 します。

DRSが有効になっていて、DRSのライセンスがある場合は完全自動に設定されていることを確認 します。DRSが無効になっている場合、アップグレードプロセスでプロンプトが表示されたら、 手動でVMをvMotionする必要があります。

詳細については、VMwareの<u>ガイド</u>を参照してください。

vMotion設定の確認

メンテナンスモードタスクが完了しないように、vMotionが適切に設定されていることを確認しま す。

vMotionのトラブルシューティングの詳細については、<u>ここ</u>を参照してください。

クラスタでEVC(Enhanced VMotion Compatibility)が有効になっていることを確認します。

ステップ1: VMware vCenterにログインし、Home and Clustersに移動します。

ステップ 2:vCenterクラスタをクリックします。この例では、San_Joseという名前のクラスタ を示します。

ステップ 3 : Configureを選択し、Configurationの下でVMware EVCをクリックして、EDITを選択 します。



ステップ4:使用するプロセッサごとにEVCモードをEnabledに変更してください。

Change EVC Mod	e San_Jose	3	×	⊘ ∽ smoraal	p⊜localos ∨	9
Select EVC Mode						
O Disable EVC O Enable E	VC for AMD Hosts 🙁 Enable EVC for Intel® Hosts					
CPU Mode	Intel® "Merom" Generation				ED	(T
Graphics Mode (vSGA)	Baseline Graphics V					
Description						
CPU Mode Applies the baseline feature	set of Intel® "Merom" Generation (Xeon® Core™2) processo	rs to all hosts in the cluster.				
Hosts with the following pro- Intel® "Merom" Generation (2	cessor types will be permitted to enter the cluster: Keon® Core™2)					
Intel [®] "Penryn" Generation (Intel [®] "Nehalem" Generation	Keon® 45nm Core™2) (Xeon® Core™ i7)					
Intel® "Westmere" Generatio	n (Xeon® 32nm Core™ i7)					
Intel® "Sandy Bridge" Generation	ation					
Intel® "Haswell" Generation	n					
Intel® "Broadwell" Generatio	n					
Intel® "Skylake" Generation						
Future Intel® processors						
For more information, see Kr	nowledge Base article 1003212.					
Graphics Mode (vSGA)						
Applies the baseline feature features provided by ESXI 7.	set for graphics that includes features through D3D 10.1/Op 0 (and earlier).	enGL 3.3. This is compatible with the				
Compatibility						
			L	Completion Time	w Server	

仮想マシン(VM)でのアフィニティルールの確認

ゲストVMでアフィニティルールが作成されているかどうかを確認します。

ステップ1:VMware vCenterからクラスタに移動します。

ステップ 2 : Home and Clustersに移動します。この例では、San_Joseという名前のクラスタを示します。

ステップ 3: Configureを選択します。ConfigurationでVM/Host Rulesを選択し、ルールが作成されたことを確認します。

🕼 San_Jose	ACTIONS			
Summary Monitor	Configure Permissions	Hosts VMs Datastores	Networks Updates	
Services V vSphere DRS	VM/Host Rules + Add ⊘ Edit 😢 Delete	2		
vSphere Availability	Name	Туре	Enabled	Conflicts
Configuration \checkmark				
Quickstart				
General				
Key Provider				
VMware EVC				
VM/Host Groups				
VM/Host Rules				
VM Overrides				
I/O Filters				
Host Options				
Host Profile				
Licensing V			No VM/Host rule selected	

ESXiエージェントマネージャ(EAM)

HXDP 5.0(x)以降のリリースでは、EAMはSCVMネットワークとデータストアを管理するために ESXiホストで使用されなくなりました。

HXDP 5.0(x)以前のバージョンでは、ネットワークとデータストアにSCVM情報が必要です。

ESXi Agent Manager(EAM)の状態が正常であることを確認します。

ステップ1: VMware vCenterにログインします。

ステップ2: Home and Clustersに移動して、各ESXiノードに移動します。

ステップ 3: VMware vCenterクラスタで、Configureに移動し、Virtual MachinesからAgent VM Settingsを選択します。

この例では、HyperFlexクラスタが5.0(2c)上にあるため、空白が表示されています

10.31.	ACTIO	NS				
Summary Monitor	Configur	e Permissions VMs	Datastores Networks	Updates		
Storage	~	Agent VM Setting	gs			EDIT
Storage Adapters		Datastore				
Storage Devices Host Cache Configura	ation	Network				
Protocol Endpoints						
I/O Filters						
Networking	~					
Virtual switches						
VMkernel adapters						
Physical adapters						
TCP/IP configuration						
Virtual Machines	~					
VM Startup/Shutdown	n					
Agent VM Settings						
Default VM Compatib	ility					
Swap File Location						

EAMを使用する場合、vCenterに証明書エラーが表示されていないことを確認します。

詳細なEAM情報については、<u>ここ</u>を参照してください。

vCenterおよびESXiライセンス

6.xから7.0にアップグレードする場合は、アップグレードの前に新しいライセンスがあることを 確認します。

アップグレード後は、評価モードが60日間しか有効になりません。

	_											
Administration		Linesee										
Access Control	~	Licenses										
Roles		Licenses Products Assets GO TO MY VMWAR										
Global Permissions												
Licensing	~	ADD SYNCHRONIZE LIC	ENSES RENAME REMOVE									
Licenses		Ucense T	License Key	٣	Product	٣	Usage	٣	Capacity T		State w	Expiration
Solutions	~	Evaluation License	**				-				Assigned	A Evaluation
Client Plugins		🗌 🔄 ESXi 6 - Enterpris.			VMware vSphere with Operations Ma.	-	6 CPUs		20 CPUs		Assigned	Never
vCenter Server Extensions		🗌 🔄 ESXi 6 - Enterpris.			VMware vSphere with Operations Ma.		1 CPUs		10 CPUs		Assigned	Never
Deployment	~	License 2		-	vSphere 7 Enterprise Plus		O CPUs (up to 32 core	15)	6 CPUs (up to 32 cores)		Unassign	Never
System Configuration	- 1	C I ré License 3	0N433-300006-300006-30000	0.0148-0	vSnhare 7 Ecundation for Embedded		O CPUIs Jun to 32 core	1.04	& CPUs (up to 92 cores)		l Inassian	R Never
Customer Experience Improvement Progr	r	EXPORT										8 items
Support	~											
Upload File to Service Request												
Certificates	~											
Certificate Management												
Single Sign On	~											
Users and Groups					No items selected	5						
Configuration												

SSHの推奨事項

HXUSERロックアウト

ログインに失敗すると、ESXiユーザがロックされる可能性があります。

hxuserまたはrootユーザーのステータスを確認するには

ステップ1:ESXiノードでrootとしてSSHセッションを開きます。

ステップ 2: pam_tally2 —user hxuser (またはroot user)を実行します。

ステップ 3 : hxuserまたはrootがロックされていることを確認します。

[root@esxi1:~] pam_tally2 --user hxuser Login Failures Latest failure From hxuser 0 [root@esxi1:~] pam_tally2 --user root Login Failures Latest failure From root 0 [root@esxi1:~]

指定されたESXiユーザのロックを解除するには、次の手順を実行します。

ステップ1: pam_tally2 —user hxuser —reset (またはroot user)を実行します。

ステップ2: Failuresカウントが0に減ることを確認します。

```
[root@esxi1:~] pam_tally2 --user hxuser --reset
Login Failures Latest failure From
hxuser 0
```

```
[root@esxi1:~] pam_tally2 --user root --reset
Login Failures Latest failure From
root 0
```

ロックダウンモードまたは停止

ESXiホストのセキュリティを強化するには、ロックダウンモードを有効にする必要があります。 この設定により、HyperFlexクラスタのアップグレードで無効にする必要があるロックダウンモー ドに起因するHyperFlexのアップグレードが防止されます。

- ESXiロックダウンモードを無効にするには、次の手順を実行します。
- ステップ1:SSHをrootとして直接ESXiホストに実行します。
- ステップ2:Initial Setupを表示するにはF2キーを押します。

ステップ3:ルートクレデンシャルを入力してDUCI設定を開きます。

- ステップ 4 : Configure Lockdownモードに移動し、disabledに変更します。
- vCenterからロックダウンモードを無効にするには、

ステップ1:vSphere Web Clientインベントリ内のホストを参照します。

ステップ 2: Managetabをクリックし、Settingsをクリックします。(6.7の場合は、 Configuretabをクリックします)。

- ステップ 3:Systemの下で、Security Profileを選択します。
- ステップ4:ロックダウンモードパネルでEditをクリックします。

ステップ 5:Lockdownモードをクリックし、ロックダウンモードオプションのいずれかを選択し ます。

ロックダウンモードの詳細については、<u>ここ</u>を参照してください。

複製

レプリケーションが設定され、有効になっている場合は、アップグレードの前に一時停止する必要があります。

run stcli dp schedule pauseコマンドを使用してレプリケーションを一時停止し、アップグレード 後にstcli dp schedule resumeコマンドを使用してレプリケーションを有効にします。

ドライブ障害

ドライブ障害が発生すると、HyperFlexクラスタのアップグレードが失敗します。HyperFlex Connect GUIでブロックリストまたは無視されたディスクを確認するには、次の手順に従います 。

ステップ1:HyperFlex接続のGUIを開き、https://<HyperFlex-virtual-ip-addres or fqdn>に移動します。

ステップ2: System Informationに移動し、次にSystem Overviewタブを選択します。

ステップ3:ディスクエラーがないかどうかを確認します。

System Overview No	des Disks					Last refreshed at: 07/18
San_Jose ONLINE vCenter Uptime 73 days, 6	Ucense Type Datacenter Ar Ucense Status In compliance https:// Notworks.26	dvantage Hypervisor H00P Version	6.7.0-19195723 4.5.2e-39752	Total Capacity Available Capacity	32.14 TB 31.94 TB	DNS Server(s) NTP Server(s)
Hyperconverged Nodes				Data Replication Factor	3	Controller Access over SSH Disk View Options ~
Node	Hypervisor	HyperFlex Controller	Disk Overview ((11 in use 15 empty slots)		
San-Jose-Server-1	Online	🕑 Online	12345	6 7 8 9 10 11 12 13 14 1		
HAAF240C-19143A	6.7.0-19195723	4.5.2e-39752	٠			

ディスクの問題は、Cisco TACで修正する必要があります。

以前のマザーボードの交換、再導入、およびノードの削除

マザーボードの交換により、以前のホストUIDも新しいIDに置き換えられます。交換タスク中に 何らかの問題が発生した場合は、UIDの不一致が原因でHyperFlexのアップグレードが失敗する可 能性があります。



注: Intersight HealtCheckはIDの不一致についてアドバイスします。HyperFlexクラスタ をIntersightに接続してHyperFlexクラスタHealtCheckを実行することを強くお勧めします 。

マザーボードの交換については、ESXi CLIのstNode UUIDを比較し、UUID情報がHyperflexクラ スタのUUIDと一致することを確認します。

UIDを収集するには、次の手順を実行します。

ステップ1: rootとしてESXiノードへのSSHセッションを開きます。

ステップ 2 : hostsvc/hostsummコマンドを実行します。 | grep -i uuid | grep -v instを実行します。

ステップ3:UUID情報を収集します。

[root@esxi2:~] vim-cmd hostsvc/hostsumm | grep -i uuid | grep -v inst

```
uuid = "1f82077d-6702-214d-8814-e776ffc0f53c", <---- ESXi2 ID
[root@esxi2:~]
[root@esxi2:~]</pre>
```

HyperFlexクラスタノード上のUUID情報を取得するには、次の手順を実行します。

ステップ1: HyperFlexクラスタのIPアドレスにSSHを実行します。

ステップ2:コマンドstcli cluster infoを実行します。 | が表示されます。

ステップ 3:stNodes IDを収集します。

stcliクラスタ情報 IDがESXiノードに表示される情報と一致することを確認します。

HXとvCenterの不一致

HyperFlexクラスタ上のデータセンター、クラスタ、データストアなどのvCenter情報がvCenterと 一致することを確認します。情報の不一致により、HyperFlexクラスタのアップグレードが失敗し ます。

最新の情報を入手するには、次の手順に従います。

ステップ1:adminとしてHyperFlexクラスタIPにSSHを実行します。

ステップ2: stcliクラスタ情報の実行 | grep -i vcenterを実行します。

ステップ3:クラスタ内の登録済みvCenter情報を収集します。

vCenterClusterName: vcenter-cluster vCenterDatacenter: hx-cluster-name vCenterURL: https://vcenter-url vCenterDatacenterId: datacenter-name vCenterClusterId: domain-c5124 vCenterUrl: https://vcenter-url vCenterVersion: 7.0.2 Build-18455184

HyperFlex vCenter再登録

名前では大文字と小文字が区別されることを考慮してください。前の出力の名前とvCenter情報が 一致しない場合は、vCenterの再登録が必要です。

vCenterをHyperflexクラスタに再登録するには、<u>ここ</u>にあるvCenter登録ビデオを確認してください

Vcenterを再登録するには、次の手順を実行します。

ステップ1: adminとしてクラスタのIPアドレスにSSHを実行します。

ステップ2: stcli cluster reregisterコマンドを実行します。

stcli cluster reregister [-h] --vcenter-datacenter NEWDATACENTER --vcenter-cluster NEWVCENTERCLUSTER --

hxshell:~\$ stcli cluster reregister --vcenter-datacenter MyData-Center --vcenter-cluster Cluster-Name Reregister StorFS cluster with a new vCenter ...
Enter NEW vCenter Administrator password:
Cluster reregistration with new vCenter succeeded
hxshell:~\$

関連情報

- Hyperflexクラスタのヘルスチェック
- ハイパーチェックの実行: Hyperflex Health & Pre-Upgrade Check Tool
- <u>テクニカル サポートとドキュメント Cisco Systems</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人に よる翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっ ても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性につ いて法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照する ことを推奨します。